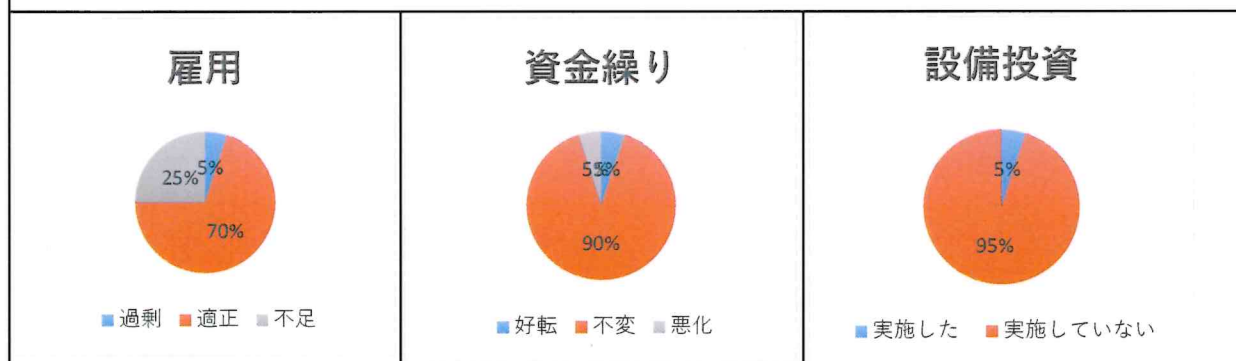


稲美町の経済の動き				第8号				
				発行月：令和5年4月 調査対象：令和5年1～3月				
《業況》				《採算》				業況
製造業		建設業		製造業		建設業		
良い	2	良い	0	黒字	2	黒字	1	
普通	1	普通	3	収支トントン	1	収支トントン	2	
悪い	2	悪い	1	赤字	2	赤字	1	今期 
小売業		サービス業		小売業		サービス業		
良い	0	良い	1	黒字	1	黒字	2	
普通	3	普通	3	収支トントン	4	収支トントン	3	
悪い	2	悪い	2	赤字	0	赤字	1	

【稲美町の今期の景況】

コロナ禍の影響が続く中で、原材料仕入価格や電気代の高騰が業種に関係なく町内全体に広がっている。原材料仕入価格の高騰分を販売価格や取引価格等に転嫁できず、利益が減少している事業所が見られる。業況が「悪い」と答えた企業が「良い」と答えた企業より増加と逆戻りし、悪化している。



【兵庫県の景気動向】

兵庫県の景気は、持ち直している。企業の業況判断は、足もとは改善し、先行きは悪化すると見込んでいる。個人消費は持ち直している。輸出は増加している。設備投資は減少計画にあるものの堅調である。生産は持ち直しの動きとなっている。有効求人倍率は前月を下回った。雇用者所得は弱めの動きとなっている。倒産件数は前年を上回った。

【全国の景気動向】

景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【今季の景況を踏まえた経営指導員のコメント】

町内では依然として厳しい経済情勢が続いており、材料の入手難、原材料仕入価格及び電気代の高騰が影響している。商工会では、販路開拓を実施する為の「小規模事業者持続化補助金」、思い切った業種転換を行う「事業再構築補助金」等の事業計画策定支援、運転・設備資金を確保する為の「マル経融資」等の金融支援策がありますので、ぜひご活用いただきたい。